

岡山県立津山東高等学校学校運営協議会 第2回会議 議事録〔概要版〕

令和4年12月9日（金）15:00~16:30

津山東高校会議室

○出席者 委員10名（校長含む）中9名が出席 学校側出席者：教頭2名・事務部長

〔協議の概要〕

学校側出席者から中間期までの学校運営について報告

- ・カナダ短期語学留学の実施 ・制服を生徒会執行部が中心となってリニューアル
- ・美作大学・美作大学短期大学部との教育連携協定締結 など

（委員）学習時間の向上のためにどのような方策をとっているか。

（教頭）家庭学習時間が確保できない主な原因は、スマホなどを操作するメディア時間が長いことだと分析している。メディアとの適切な関わり方について、学年集会や個別面談などで指導している。

（委員）コロナ禍でコミュニケーションが希薄になっている中で、挨拶指導に力を入れていることは評価できる。コロナ禍をチャンスに変えて積極的な教育活動をお願いしたい。

（委員）オープンスクールに参加した中学生が、新しい制服がかっこいいから東高に進学して着てみたいと言っていた。新制服は好評のようだ。

（教頭）生徒会執行部の生徒が中心となり、ほぼすべてを生徒主体で決定してきた結果、評価の高い制服ができたのだと思う。

（委員）在校生は新制服を着ることが出来るのか。

（教頭）在校生も希望すれば購入して着用できることとした。

（委員）岡山県は「夢育」という取組を進めている。東高の生徒は夢を持って取り組んでいて、素晴らしい活動が多くなされていると高く評価している。津山市では中学生に郷土学習のパフレットを配布しており、高校生になってもそれを活かしてほしいと願っている。

（教頭）小学校や中学校の学習との接続を意識しながら地域学を進めていきたい。

（委員）津山は歴史的に素晴らしい街である。そのことを多くの生徒に知ってもらいたい。

（教頭）生徒は行学などを通じて地域の魅力を発見している。地元の良さを知り、大学進学で一旦外に出ても地元に戻ってきたいと言う生徒もいて、期待している。

（委員）東高でもオンライン授業が浸透しているが、黒板が見にくいなど不具合もあると聞いている。予算をつけて環境を整え、平等性を保てるような施策が必要ではないか。

（教頭）現在主に使用している Chromebook の内蔵カメラは解像度がやや落ちる。今後は Web カメラやデジタルカメラなど、機材の整備や活用が課題だと捉えている。

（委員）東高は地域の子供たちを対象にした学習ボランティアなどの取組が多く感謝している。子供たちにとってみると、「このお兄さんお姉さんのようになりたい」と感じる機会になっている。

（委員）子供や親子と触れ合う中で、高校生にどのような変化があったか。

- (委員) 地域連携コーディネーターとして生徒に関わっている。生徒は子供たちがどうやったら楽しめるかなど工夫しながら取り組んでいる。子供によってコミュニケーションの仕方が違うことに戸惑ったり、プランが思い通りにいかなかったりする。それらを検証し次に活かすことで大きく成長している。特に教員を目指す生徒にとって良い探究活動になっている。ただ、これ以上活動地域を増やすと生徒や先生方の負担が増えるので、バランスの取り方が難しい。
- (委員) 市内に23ある公民館を通じた活動をしていくのも一つの方法ではないか。
- (委員) 課題解決能力がどのように身に付いているのかを測っていくことが大切だと思う。体験できたら目標達成、ではなく、目指すべきところに向かって成長しているかが重要だ。
- (校長) 私も「体験あって探究なし」「活動あって学びなし」に陥らないことが重要だと考えている。本校ではルーブリック評価によって生徒の成長を可視化している。
- (会長) 多彩な教育活動を積極的に発信していることは評価できる。今後は、生徒が他の生徒の活動を知る機会が増えるとよい。ポータルサイトなどを活用して、機会を効果的に設けてほしい。